



日本製紙グループ
CSR報告書
2009

ハイライト版



編集方針

日本製紙グループでは、CSR(企業の社会的責任)に関わる取り組みについて広くステークホルダーの皆さまに報告するためにCSR報告書を発行しています。発行にあたっては、充実した情報開示を目指し網羅的な報告に努めた「CSR報告書(詳細版)」と、重要性の高い項目に絞り込んで読みやすい報告書を目指した本誌「CSR報告書(ハイライト版)」の2種類の冊子を発行しています。

報告の対象期間

2008年4月1日～2009年3月31日※

※ 一部に2008年4月1日より前、または2009年4月以降の情報を含めています

報告の対象組織

持株会社である当社、(株)日本製紙グループ本社を報告主体とし、当社および主要事業会社9社を主な報告対象としています。

(株)日本製紙グループ本社、日本製紙(株)、日本大昭和板紙(株)、日本製紙クレシア(株)、日本製紙パピリア(株)、日本紙パック(株)、日本製紙ケミカル(株)、日本製紙木材(株)、日本紙通商(株)、日本製紙総合開発(株)
[連結売上高構成比 88%]

環境関連の基本方針、体制、環境会計、環境パフォーマンスデータの集計対象などについては、主要生産拠点すべてを含む、以下の18社を報告対象としています。

(株)日本製紙グループ本社、日本製紙(株)、日本大昭和板紙(株)、日本製紙クレシア(株)、日本製紙パピリア(株)、日本紙パック(株)、日本製紙ケミカル(株)、日本製紙木材(株)、日本紙通商(株)、日本製紙総合開発(株)、興陽製紙(株)、北上製紙(株)、日本製紙USA、日本製袋(株)、秋田十條化成(株)(非連結)、(株)パル、大昭和ユニボード(株)、四国コカ・コーラボトリング(株)
[連結売上高構成比 96%]

本報告書の中では、上記のグループ会社を指して「当社グループ」と記載し、報告対象外の組織を含めた「日本製紙グループ」という名称と区別しています。日本製紙グループ全体の組織概要については「日本製紙グループの概要」(P26～27)に記載しています。ただし、以上それぞれに関して、本報告書の項目によって報告の対象組織が異なる場合があるため、そうした場合に該当する項目で対象組織がわかるように記載しています。

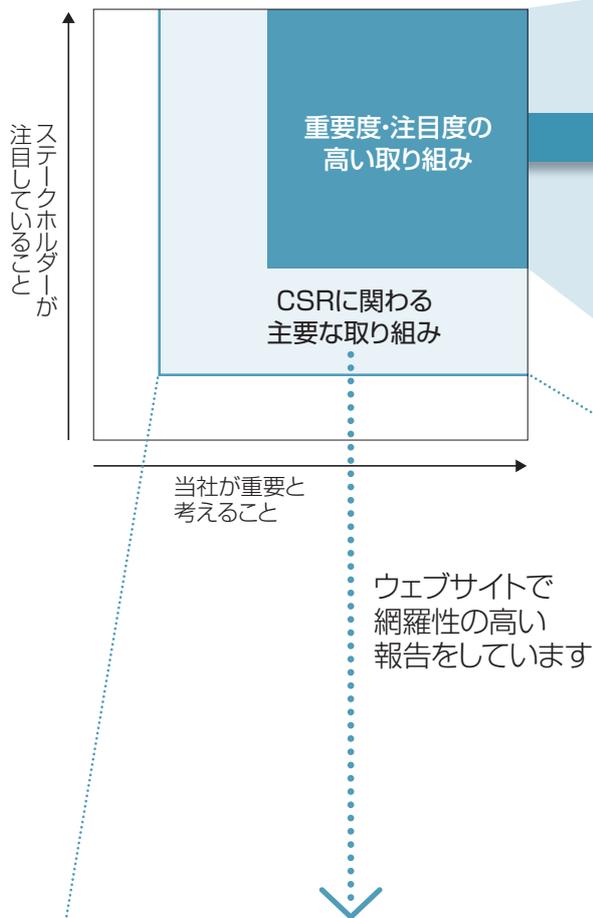
参考にしたガイドラインなど

- 環境省「環境報告ガイドライン」
- Global Reporting Initiative(GRI)
「サステナビリティレポートガイドライン」(第3版)
- 「国連グローバル・コンパクト」ほか

免責事項

本報告書には、日本製紙グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、以上をご了解いただきますようお願い申し上げます。

日本製紙グループのCSR報告



ウェブサイトで網羅性の高い報告をしています

CSR報告書(詳細版)

日本製紙グループ CSRウェブサイトをご覧ください
<http://www.np-g.com/csr/>

詳細版での報告項目

事業概要	経営に関わる責任
トップメッセージ	グループガバナンス CSRマネジメント ステークホルダーとの対話
特集1 生物多様性保全への取り組み	情報開示とIR活動、株主への利益還元 コンプライアンス
特集2 地域と連携して「間伐に寄与する紙」を生産	環境に関する責任 マテリアルバランス 環境マネジメント 気候変動問題への取り組み 古紙の利用推進
報告 古紙パルプ配合率等 不当表示問題の 再発防止策の進捗	廃棄物の発生・排出抑制 環境汚染防止への取り組み 環境保全活動の目標と実績 環境会計

※ ご希望の方へ冊子を送付いたします

資料請求先URL <http://www.np-g.com/appliform/>

本誌
CSR報告書(ハイライト版)

冊子で、重要度・注目度の高い項目を報告しています



ハイライト版



詳細版(PDF形式)

原材料調達にともなう責任

原材料調達の現状
方針とマネジメント
サプライチェーンにおける取り組み
古紙の安定調達への取り組み
海外植林事業の推進
国内社有林の保護・育成
植林地の概況

ステークホルダーへの責任

お客さまへの責任
従業員への責任
地域社会への責任

ガイドライン対照表

第三者意見

第三者意見を受けて

目次

- 2 編集方針
- 4 トップメッセージ

6 特集1

生物多様性
保全への取り組み

- 7 「土地本来の森づくり」へ向けて
- 8 絶滅の恐れがある植物の保全
- 9 貴重な植物の遺伝子の継承



10 特集2

地域と連携して
「間伐に寄与する紙」を
生産



12 重点テーマ報告

- 12 1.持続可能な原材料調達
- 16 2.古紙パルプ配合率等不当表示問題の再発防止策の進捗
- 20 3.気候変動問題への取り組み
- 24 4.自然の恩恵を未来へ伝える次世代育成支援



- 26 データ編
- 35 第三者意見
- 35 第三者意見を受けて